

プラパゴン⑧

① 骨の怪物を退治すると、中から現れたのは中国の小人のおじいさんでした。「ハラショー。あなたなかなか勇氣あるね。私氣に入りました。いいものをあげましょう」

② 「これは何ですか？」「これは、一度死んだ人を生き返らせることのできる不思議な木の実だ。これを持って行くといいぞ」「これはこれは、ありがとうございます」「少年よ、氣を付けて行くがいいぞ」

③ こうして、中国の小人の老人と別れた二人は、また山の方へと向かって歩いて行きます。

④ 歩き続けること三日目で、二人はようやく山の見えるところまで来ました。「きつとあの山にプラパゴンが住んでいるに違いない」と言っていると、

⑤ ビュー、ゴー。突如として大嵐が吹き始めました。「氣を付けろ、これはプラパゴンの大嵐だぞ」ビュー。

⑥ 「私の住みかに近づくとはフトドキな人間どもめ。ひとおもいに吹き飛ばしてくれるわ」

⑦ 「ウワー、アリーさん、大嵐で吹き飛ばされたよー」

⑧ アリーは遠く離れた大地へと叩きつけられてしまいました。「ウーン、いたい…」体が痛んでなかなか起き上がることができません。すると向こうからプラパゴンがやってきました。

⑨ 「生意気な小僧め、ひとおもいに握りつぶしてくれるわ」「おのれくるか」剣をとって立ち上がろうとするアリー。果して…